

LA WORLD 023

グローバル
ランドスケープ通信
vol.23

Fürstenwald cemetery

Dieter Kienast, Christian Vogt



スイスのクールに、造園家である Dieter Kienast(1945-1998) の設計する墓地がある。クールはスイスの東部、グラウビュンデン州にあるゲマインデ（自治体）であり、同州の州都である。周囲をアルプス山脈に囲まれた、ライン川沿いの谷地に位置する市街の外れに墓地は位置しており、そのミニマルな空間構成は、静謐でいて死者と訪れる者に優しく、墓とは誰のものなのかという事を非常に考えさせられる場所である。



死者と生者 のための ランドスケープ

キーナストはかつて、墓地について“死者を埋めるのにふさわしい場所という目的を持っているだけでなく、さらに遺族が失ったものと生きている自分を結びつけることができるようになる場所としての運命も持っている…”と述べている。

墓地と葬送の形態やシステムは、土地や宗教など多様な条件との関わりあいによって、これまで様々な変遷を見せてきた。墓は誰のためのものか、と考える時、死者と生者の両者にとっての場所でもあるという事は、死と生という概念を見出している時点で必然であるかもしれないが、今後の墓制においても忘れてはならない感覚なのではないかと感じる。



墓地の上部にある共同墓地



墓地の背後を通る小道

Fürstenwald 墓地は、市街地のはずれの農地と、市街地の東側を大きく囲むようにあるフルステンヴァルトの森のちょうど間に位置しており、谷地の斜面地形にそってある敷地は、細長い線形をしている。造成計画としては、傾斜地であるものの地形を生かし、自然地形に寄り添うように動線と埋葬地を配置することによって、平坦な土地を確保する事、そしてより多くの埋葬の区画を設ける事を可能にしている。

墓地からの見えとしては、敷地が中心市街地から谷地を登ったところに位置する為、ライン川対岸のアルプスの山々と中心市街への美しい眺めを有している。一方、街からの見えとしては、墓地全体がうまく斜面地形の中に納まり、周囲の田園地方の地域性を保ったまま明瞭で簡素に、既存の森林地と融合している。

空間は主に、大きく2つの動線によって構成されている。

1つは、墓地の入口付近にある礼拝堂から、森のはじまりにあたる墓地の終わりまで地形に沿って挿入された壁と、それに沿ってあるメイン動線である。挿入された壁は空間において大きな背骨となり、農地と墓地の境界となり、はるか遠くの自然な遠景と市街へのすばらしい自由な眺めはそのままにしながら、農地と墓地を明確に隔てている。もう1つは、墓地の背後

にある、墓地と森の間を沿うようにある小道であり、森と墓地を緩やかに隔てている。

そしてこの2本の動線の間地形に沿って段状の埋葬地と灌木が配置され、それを横断するように複数の低木・高木の植栽の帯と動線が入りこんでいる。そしてこの植栽の帯は、隣接した森林地の景観との融合に配慮し、その土地固有の種である植物を入口手前から奥にむかうにつれ選択的に使用することによって作られている。

このように Fürstenwald 墓地では、農地—墓地—森という2つの空間に挟まれた境界に、死者のコミュニティのためであり、生者の哀悼のための場所がある。ランドスケープの近代において、自然そのものの新しい見方を模索していたキーナストを思うと、死と生・森と街・自然と人工、それらの関係は推し量りかねるが、これらの感覚がゆるやかに繋がり、隔てられる事によって、寡黙でいて幸福な空間が生まれている事は間違いないだろう。

(取材：小田切萌)

info

Address: Fürstenwaldstrasse 90

7000 Chur

Switzerland

Access: スイス鉄道

ハルデンシュタイン駅より徒歩10分

Hours: 夏期：07:00 - 21:00

冬期：08:00 - 17:00

Fee: 無料

Map:

